

一般質問

本定例会での一般質問は、3月9日から11日までの3日間行われ、18名の議員が、34項目について質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。

一般質問とは？
 議員が市の仕事全般について、市長などに報告や説明を求めたり、将来の方針等について質問することをいいます。
 一般質問は、各定例会の本会議で行われます。

聞いてみたいな、こんなこと

戸沢 弘征
 議員

温浴施設による騒音対策は

防音壁などを設置

問 秋川三丁目の温浴施設について

秋川三丁目の温浴施設が起す騒音、交通騒音、また交通事故の心配が周辺住民から寄せられている。そこで以下について質問する。

① 温浴施設による騒音対策は万全か。

② 郵便局、公園、保育園、市営住宅などがあり、車利用の対策で信号機、横断歩道、ガードレールの設置は考えているか。

③ カラー舗装による歩道の確保、道路照明、誘導案内看板などの指導は行つか。

環境経済部長

① 機械室の防音対策として、室内全面に防音材と、室外北側に高さ5mの防音壁を設置し、また、屋上に置く室外機等の周囲に高さ2mの防音壁を設置することである。

都市整備部長

②③ 交通処理や歩行者の安全対策のため、駅前大通りからさくら通り及び、郵便局東側の通りを主要道路

とし、誘導看板または交通誘導員を配置することや、交通安全対策について、市は福生警察署と連携し、新都市建設公社に適切な指導を行っている。また、東西主要道路と位置付けている

道路については、歩道上にカラー舗装をする。

他に、秋川ファーマーズセンターの改造と財政計画、秋川高校跡地に対する土地利用計画について質問した。



建設が進む秋川三丁目の温浴施設

岡野 悦史
議員

瀬音の湯の利益実績は

黒字に転換した

問 「秋川渓谷瀬音の湯」の運営状況と将来展望について

新四季創造(株)が運営する「秋川渓谷瀬音の湯」は、お客様の評判が大変良く、オープンから3年目を迎えた現在も当初見込みを上回る来場者数と聞いている。そこで、現在の運営状況と将来展望について伺う。

- ① オープンから現在までの入場者数と利益実績は。
- ② 月別、曜日別の入場者数及び、市民の利用割合は。
- ③ 将来の展望をどのように考えているか。

環境経済部長

- ① オープンの平成19年度は入場者合計24万5000人、利益実績353万円、20年度は24万2000人で、834万円の赤字、21年度は24万8000人、2700万円の利益が見込まれるとのことである。
- ② 利用者数は、1日当たり平均700人。月別は、8月が最多で、1日当たり900人。また、平日の利用者数は、土、日曜日の50%前後である。なお、市民利用割合は、11%位となっている。
- ③ 今年度は利用者の増加や赤字解消に向けた方策を実施したため、黒字へ転換した。今後も、お客様のご意見、ご要望を取り入れ、期待に応えられる施設にし、安定した経営が維持できるものと考えている。



「秋川渓谷 瀬音の湯」

子籠 敏人
議員

マールボロウ交流の今後は

高校生等の交流も検討



マールボロウ市庁舎

問 国際姉妹都市交流の成果と今後について

米国マサチューセッツ州マールボロウ市との交流は、中学生の相互派遣や相互理解を軸に国際姉妹都市交流へと発展してきた。また、その過程では、地域で活躍する人材の輩出をはじめ、市とパートナーシップを組む新たな主体や事業も複数生み出すなど、その成果は協働のまちづくりへ向けた成功事例であると評価している。そこで伺う。

- ① 市はこれまでの交流の成果をどのように評価し、継続・拡充していく考えか。

- ② 今年、350周年を迎えるマールボロウ市の周年事業に、市はどのように対応し、中学生派遣はどうするのか。
- ③ 市長の姉妹都市への思いは。

生涯学習推進担当参事

- ① 国際的視野を持つ人材の輩出や市民レベルでの交流が広がり、協働の成果も見られる。中学生派遣は今後も続け、高校生等の交流についても検討していく。

企画政策部長

- ② 周年事業は平成22年9月4日に祝宴、6日にパレ

- ① 今年、350周年を迎えるマールボロウ市の周年事業に、市はどのように対応し、中学生派遣はどうするのか。
- ② 市長の姉妹都市への思いは。

市長

- ③ 姉妹都市交流は子どもたちの成長に伴い、大きな糸が編まれてきた。やがて交流協会のような、多くの市民が参加する組織に発展できれば素晴らしい。350周年の招待を節目に今後の第一歩を踏み出したい。

たばたあずみ
議員

学童クラブの設備改善を

既存設備を有効利用する



元気に遊ぶ子どもたち

問 子育ていちばんのまちを目指して
① 安心して預けられる保育園を
ア. 政府は待機児解消措置として、認可保育園の最低基準を緩和する方針を打ち出した。また、本年4月からは定員の上限を撤廃するとしている。当市ではこのことを、ど

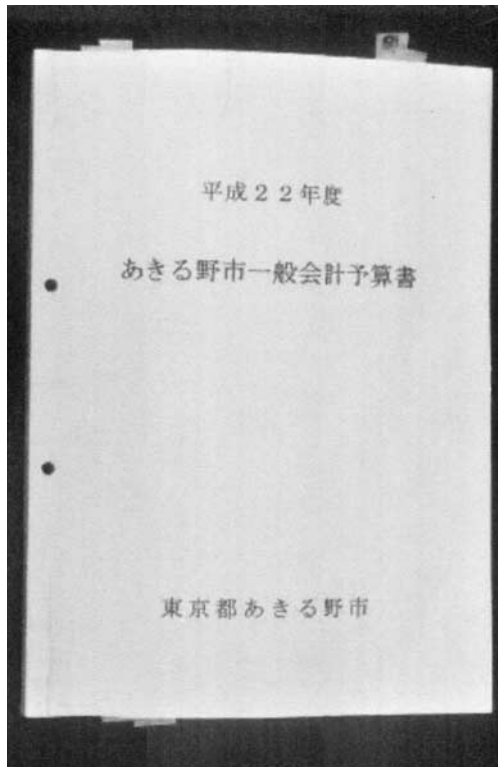
う考えるか。
イ. 東秋留保育園の民営化の移行手順は。
② 学童クラブの設備改善と安全対策を
ア. 長い放課後を過ごすには不十分な施設が多い。早急に改善を。
イ. 下校時、学童クラブまでの道の安全確保を。
子育て支援・児童担当参事
① ア. 保育園は安全で安心できる施設環境の中で、きめ細かな保育をするもの。最低基準は維持していきたい。
イ. 学校安全ボランティアや地域の方々の協力を得て、安全確保に努める。
② ア. 既存施設の有効利用の観点から、使えるものは既存設備を使っていた。五田市学童クラブは五日市会館の利用が可能。増戸第2学童クラブには女子トイレを増設した。
イ. 学校安全ボランティアや地域の方々の協力を得て、安全確保に努める。

野村

正夫
議員

収入が増える見通しは

徴収率をさらに上げていく



平成22年度一般会計予算書

問 財政について
① 3年から5年の間に収入が増える見通しはあるか。
② 家庭で言えば、お金のやり繰りの厳しさを表す經常收支比率が、東京都26市中最下位だと思いが、間違いないか。
③ 青梅市など7市は、次世代の市民が、将来、借金を代弁する将来負担比率は、0%である。本市の12.3.8%と言う数字は26市中最下位だと思いが、間違いないか。
④ 本市民一人当たりの年間所得額はいくらで、東京都26市中何番目になるか。
副市長
① 売却可能な土地を積極的に売る方策を取る一方、26市中でも高い徴収率を更にするよう努力する。
企画政策部長
② 平成19年度に102.1%の經常收支比率が20年度には101.3%になっており、21年度も更に改善される見込みで、ここ3年間で改善が進むと思っている。
市民部長
③ 26市中では一番悪い数値になっているが、行政改革の取り組みの中で年々改善されていくと想定している。
④ 20年度の人口一人当たりの課税対象所得は157万6000円で、26市中25番目となっている。
他に、市の遊休地の早期売却で財源確保の質問をした。

町田 匡志
議員

市民満足度調査を総合計画に反映させるか
地域懇談会での考え方も含め反映する



平成21年度地域懇談会

問 市民満足度・意識度調査（設問別集計結果報告）について
市政を運営する上で市民の意識の変化を把握することは、最も重要な施策のひとつ

とつと思われる。行政評価システムの運用のために平成16年から実施されている調査について以下伺う。
① 過去6年間の調査での変化の傾向はどのようなものか。

② あきる野市総合計画の前期基本計画が平成22年度で終了する。次の10年の後期計画に①の調査結果をどのように反映させていくのか。

企画政策部長

① 重要度の順位が高い政策として、防災対策の推進や義務教育の充実、障がい者支援の充実、子育て支援の充実、財政運営の健全化がある。また、地域医療体制と高齢者支援の充実が、市民の関心も高く、重要と認識している。
② 総合計画後期基本計画及び、都市計画マスタープランの見直しは、市民ニーズの把握が必要となり、過去の市民満足度・意識度調査結果も計画に反映する。さらに、地域懇談会や防災・安心地域委員会など、市民との話し合いのなかで、考え方も伺い、計画に反映していきたい。

小・中学校連携の成果は

学習等の課題を教員が共通理解

合川 哲夫
議員

問 小中一貫教育について平成18年12月の教育基本法改正に伴い、学校教育法で義務教育9年間の目標が規定され、小中一貫教育の推進が図られた。

そこで、以下について質問する。

- ① 小中一貫教育の理念、目的、意義をどう考えるか。
- ② 過去の答弁で、小中学



小・中連携教育研究推進校（御堂中）

校間での研究や、地域の実態、学校の特色を生かした連携を模索するとあったが、その成果は。また、その情報を公開したか。
③ 羽村市では、小中一貫教育基本計画が策定されたが、当市もその時期ではないか。

④ 小中一貫教育をスムーズに行うため、小規模学校対策として、学校間の交流を盛んに行うとともに、段階的に統合するという考えはあるか。

だてと考える。

② 平成20・21年度、小・中連携教育研究推進校である草花小学校、御堂中学校の児童生徒の生活や学習の課題を両校の教員が共通に理解し、連携した指導を行うなどの成果をあげた。成果は、保護者や市内の全教員を集め発表した。
③ 各校での実践を通して明らかになった成果や課題を検証しながら、当市にふさわしい小中一貫教育の在り方の研究を重ねていく。
④ 五日市、戸倉、小宮各小学校・五日市中学校学校間連携事業を進めている。この取組みを基盤とし小中一貫教育の実現に向けスムーズに発展させていく。

指導担当参事

① 9年間を通して、一貫した方針、計画、方法でカリキュラムを工夫し、学びの連続性を重視し義務教育の目的を達成する有効な手

細谷 功
議員

平成22年度予算の特色は

施策の重点化を図った

問 平成22年度予算案について
① 国の経済悪化が継続し、地方自治体の自立が求められているが、本市において、「市の自立」をどのように考えているか、また、その

内容が22年度予算案にどのように反映されているかを伺う。

② 災害の大きさを数字で表示し、対策をとる報道があるが、現在、本市の財政難をレベル1から最高5で

示すと、どのレベルと考えるか。また、その対策として22年度予算案はどのような特色をもって計上されているかを伺う。

企画政策部長

① 自立した都市として魅力的で活力溢れるまちづくりを進めるには財政健全化はもとより、財政基盤の安定と雇用の拡大を図る必要があります。平成22年度予算案には、地域資源を活用した地域経済力を高めるための経費を計上しては、依然

② 経常収支比率は、依然として100%を超えるなど市税収入が大幅に落ち込む中、22年度の予算編成は、経常経費の縮減など行政改革を着実に実行し財源の確保を図るとともに、喫緊の課題に対応していくため、施策の重点化を図った。



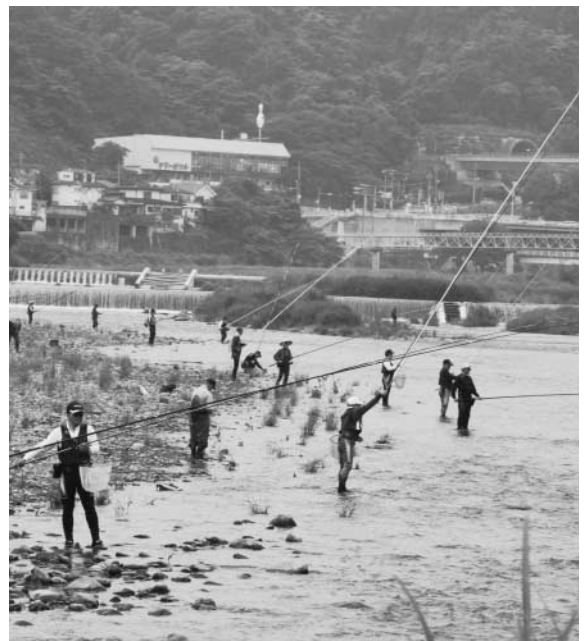
平成22年度一般会計予算書等

魚道整備の進捗状況は

問題点や管理方法などを検討

堀江 武史
議員

問 環境都市の実現に向けて「山が綺麗になれば川が綺麗になる」という想いから質問する。清流秋川の現状は、瀬や淵がある昔の川の魅力を失っているのでは。秋川は、次の世代へ引き継がなければならぬ貴重な財産で、また、そのためには山の保全が不可欠である。



鮎釣りでにぎわう清流秋川

そこで質問する。

- ① 推積砂利採取の取り組みについて。
- ② 魚道整備の進捗状況について。
- ③ 川鵜の駆除対策の現状について。
- ④ 夏場の駐車場対策について。
- ⑤ 秋川産材活用検討委員会での現状について。
- ⑥ 環境の森推進室設置について。

理方法などを検討している。
③ 現在までに12羽の川鵜を捕獲、これらの成果も踏まえ川鵜対策を行う。
④ 河川敷を利用し、駐車場の確保に努めている。
⑤ 平成21年2月に検討結果を市長に報告し、それを受け可能な限り地元産材を活用するよう、仕様書に明記するようにした。

企画政策部長

⑥ 郷土の恵みの森づくり事業基金を活用した取り組みを展開する。

他に、中学校の進路指導について質問した。

※浚渫：水底の土砂を取り除くこと。

- ① 河道内に堆積した土砂を撤去する浚渫工事を計画的に実施している。
- ② 環境経済部長
魚道管理の問題点や管

都市整備部長

環境経済部長